



2026年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社シキノハイテック  
代表者名 代表取締役社長 高橋 信一  
(コード：6614、東証スタンダード)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 舛田 敏彰  
(TEL. 0765-22-3477)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年5月13日に公表しました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 当期の業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前 回 発 表 予 想 (A)	7,006	136	130	100	22.60
今 回 修 正 予 想 (B)	6,446	△183	△180	△123	△28.12
増 減 額 (B-A)	△560	△319	△310	△223	—
増 減 率 (%)	△8.0	—	—	—	—
( 参 考 ) 前 期 実 績 ( 2 0 2 5 年 3 月 期 )	6,516	56	54	△14	△3.29

#### 2. 修正の理由

電子システム事業において、自動車市況の不透明感による顧客の設備投資が大きく鈍化した事による車載機器向け専用計測器の受注の大幅な減少、及び福島事業所における既存顧客製品の市況低迷が継続しており、当初の想定から受注が回復していません。また、データセンター向けモジュールの信頼性試験ボードやOSAT向け半導体信頼性試験装置、非車載向けの専用計測機においても当初想定した受注時期が顧客要因で遅れてきた事から減収となる見込みとなりました。利益面に関しては、このような減収による影響に加え、経費削減に最大限取り組んだものの、電子システム事業の商品構成変化や半導体信頼性試験装置の資材費の急激な高騰の影響により大幅な減益となる見込みとなりました。このような状況の中、当事業年度の見通しについて見直した結果、当初の想定より大きく減収・減益となる見込みとなりました。これらの結果、2026年3月期通期業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益をいずれも下方修正することとしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以 上